

雉を目の前に射落し死にありて是を見て何事と云ふと
我れと追かけし其中に平木市に燕と云者首級
多く取り置きたるに味方より佐友武佐と名乗る
市に燕と云甲二ツは切割る事を見えて佐友遁走
ふ打取れとて横井兵助走り来る事を佐友大力の割の
者にて横井首を打落し是れ首級十四ツ取て中陣へ
引返る然るに志村九郎を掛かけ来る事石坂川内
と云者九郎を欠ふかりて戦ひしか佐友太遅際
より折れ死にき組人志と金剛力を出し平に押つたさ
水のあひく組人志しか佐友力まさり石坂を組にせ

首を落し立向る事を志村九郎首を欠り佐友武
佐と差通しける佐友は生年三十三歳石坂廿五歳互
いに死なずり坂上紀伊守と不知とて大沼三助を友
和泉助前田小次郎先として利永清水御中陣へ切入
味方此陣より森八郎法勝七内海後山九郎山口市助
塩理勘兵衛中村彦七村山勘十郎も出合をきくに切あ
る佐友と内山ある様にて打合し前田小次郎とも
顔合する四人討取頼久公是を以て中陣に限りし其
勢に勇と然るなりと云ふ事去程に東に八延現能登
守里見源左衛門外南相模守安食大和守蟹沢兵助を